

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(1号機原子炉建物の耐震性についての計算書)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
詳細設計 申送り事項 No.6	その他	—	設置許可 まとめ資料 4条	別紙-2 建物の地震応答 解析モデルについて(建物基 礎底面の付着力及び3次元F EMモデルの採用)	4条-別紙 2-6	制御室建物及び廃棄物処理建物以外の建物に おいて付着力を考慮する場合に採用する基礎浮 上り評価法について説明する。	今回回答	1号機原子炉建物について、ジョイント要素(付着力考慮)を用いた3次元FEMモデルに よる最小接地率は98.8%(Ss-N1, NS方向)、52.4%(Ss-N1, EW方向)であり、ジョ イント要素(付着力考慮)を用いた3次元FEMモデルが適用可能な接地率35%以上(目 安値)を大きく上回ることから、ジョイント要素を用いた3次元FEMモデルの適用性を確認 しました。	NS2-補-025-13「1号機原子炉建物の耐震 性についての計算書に関する補足説明資 料」別紙4-2(通し頁P.121~360)	分類【D】